

年 組 名前:

問1

11年前に起きた東日本大震災の際、「釜石の軌跡」と呼ばれたのは、どんな出来事ですか。

.....

問2

「釜石の軌跡」を生んだ避難訓練の内容を具体的に書いてください。

.....

問3

あなたの小学校では、授業中に大地震が起きた時どんな対応・行動をとるようにしていますか。いくつか挙げてください。

.....

震災から11年「釜石の奇跡」の真実

しんちゃん 11年前の3月11日は、たくさんの人が大きな地震による津波で亡くなった東日本大震災が起きた日だったね。
ニュータン 東日本大震災では、岩手県釜石市で「釜石の奇跡」と呼ばれ、注目された出来事があったよ。釜石市も大変な津波の被害が出たんだけど、学校にいた小中学生全員が無事だったんだ。
ぶんちゃん 詳しく教えて。
ニュータン 子どもたちの避難の成功例として特に話題となったのは、海に近い釜石東中と、鶴住居小の子が共に逃げて助かったことだよ。中学生が自分の判断で小学生の手を引き、高台まで避難して助かった、という「奇跡」の美談が広がったんだ。でも「そうじゃない」と感じた子が、実は少なくなかったんだよ。
ぶんちゃん どうして?
ニュータン 当時釜石東中の3年生だった菊池のどかさんは、あの時はみんなパニックになっていて、小学生と手をつなぐ余裕は最初はなく、校舎に残った小学生に逃げてと呼び掛けたのは、地域住民だったと振り返っているよ。それに「奇跡」の話が広まった一方で、当日休んでいた生徒や小学校の職員、地域住民が亡くなったことは注目されなかったんだ。
しんちゃん そうだったのね。
ニュータン 奇跡というのは「常識では起こりえない不思議な出来事」を指すよね。だけど釜石東中では震災前、防災教育に力を入れていたんだ。当時2年生だった川崎杏樹さんは「避難できたのはあの授業のおかげ。奇跡ではない」と話しているよ。
ぶんちゃん どんな授業をしていたの?
ニュータン 津波を想定したさまざまな避難訓練を、鶴住居小とも一緒に行っていたんだ。津波と同じくらいの時速36キロで走る車と競争して、津波が来てから逃げるのでは間に合わないことを知るなど、津波がどんなものかを生々しく学んでいたよ。
しんちゃん だからこそ地震が起きたとき、すぐに行動に移せたのね。
ぶんちゃん 美談よりも、事実を知ることが大切だね。
ニュータン そうだね。川崎さんは今、釜石市の「いのちをつなぐ未来館」という施設で震災の教訓を伝えていて、「災害で犠牲者をゼロにすることが目標」と語り、自分や大切な人の命を守るためには、日ごろの備えこそが重要だと訴え続けているよ。

(2022年3月17日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと11面)